

13人が
質問しました。

3月定例会



■ 一括質問
■ 一問一答

1	代表質問 会派自民 表 靖二 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●小松市の財政について ●指定ごみダイエツ袋の今後のあり方について ●粟津駅周辺整備について ●旧西尾小学校跡地活用事業の現状と今後の見込みについて ●F-15墜落事故後の訓練の再開について ●公共施設マネジメントについて 	10 ページ	2	代表質問 自民党こまつ 宮西 健吉 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●組織体制の見直しについて ●令和4年度当初予算にあたり11項目の施策の目的と概要について ●第6波におけるコロナ対策、経済対策は ●ごみの減量化、リサイクル率向上に向けた取組は ●育樹祭をどのように考えているか ●本市の農業支援の取組は ●西尾地区滞在交流施設の運営と概要は ●学校給食無償化について ●妊娠、出産、子育て応援について市長の想いは ●今後の小中学校の改築計画は ●都市計画道路の今後の整備計画は ●新幹線敦賀開業に向けて小松駅、また周辺の整備計画と進捗状況は 	11 ページ
3	代表質問 こまつの未来 二木 攻 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設マネジメント計画の改定 	12 ページ	4	岡山 晃宏 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●自動運転バスについて ●地域協議会の活動補助について ●コロナ禍のフレイル予防推進費について 	13 ページ
4	岡山 晃宏 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●自動運転バスについて ●地域協議会の活動補助について ●コロナ禍のフレイル予防推進費について 	13 ページ	5	吉田 寛治 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●小松市のこれからの子育て支援について 	13 ページ
6	梅田 利和 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●地域市政懇談会について ●地域公共交通について 	14 ページ	7	出戸 清克 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●加賀立国1200年事業に向けて ●環境対策について ●全国植樹祭後の活動について ●木場潟東園地整備について ●農業支援について ●農業博覧会の開催について ●国府中学校通学路の消雪装置設置について 	14 ページ
8	川崎 順次 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●Artist Collegeこまつ観音下 ●企業誘致の取組について ●学校図書館へ新聞複数紙配備を ●F-15墜落事故について 	15 ページ	9	橋本 米子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●制度改定、料金改定について ●小松市中学校教科書採択について ●F-15戦闘機墜落事故について 	15 ページ
10	東 浩一 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●環境王国の登録終了について ●尾小屋鉱山資料館メインロード全線開通に向けた進捗状況について ●旧金野・波佐谷小跡地活用 	16 ページ	11	木下 裕介 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●化学消防車の廃車について ●就学時健康診断について ●成人後の医療的ケアについて ●サイバー攻撃について 	16 ページ
12	吉村 範明 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●GIGAスクール構想について ●本市の取組について ●これまでの課題について ●これからの取組について 	17 ページ	13	片山 瞬次郎 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナワクチン接種の状況 ●学校給食費の無償化事業とインフラ整備進展に伴う財政への展望 ●小松市の移住政策について ●自販機リサイクルボックスの異物混入 ●小松市の浸水区域内の避難所 	17 ページ

代表質問 会派自民 表 靖二(おもてやすじ) 議員

一括質問

全中学生への給食無償化が進む

◆小松市の財政について

Q 財政指標、経常収支比率、公債残高、財政調整基金等の動向について。

A 経常収支比率は法人市民税の動きと合わせて増減し平成28年以降91から95%台で推移。市債残高は今年度末時点で一般会計4億9千万円増、全会計では下水道や病院事業会計の減少により約19億4千万円減となる。財政調整基金は減少傾向にあり予算ベースで今年度末14億円余で地域経済活性化対策基金や減債基金と合わせて来年度末で19億円程度と推計している。

Q 事務事業を見直し、相当規模の財源を捻出したとあるが、その概要と規模について聞く。

A 市の全施策887事業を検証し、当初予算編成に反映したものは一般会計分で117件、2億2,300万円余となる。

Q 中学生全学年の給食費が無償化され、1億8千万円余の予算措置がされているが、財政上問題がないのか。加えて本施策の持つ政策的アナウンス効果について聞く。

A 事務事業の見直しや予算編成の調整等で概ね経常的・安定的に確保できる財源と見込んでいる。財政規律を保ちつつ好循環を回すための必要な先行投資として子育て世代から選ばれ移り住んでもらえる取組等が重要である。

◆指定ごみダイエット袋の今後のあり方について、市環境審議会から中間答申があったが、今後どのような対応となるのか

A 中間答申では新たな目標値やごみ袋無償配布の廃止、町内会等への支援の拡充など制度の見直しが必要であると示された。令和5年4月からの新ごみ制度開始に向けて町内会連合会や女性協議会等で改正内容やごみ減量方法を丁寧に説明していきたい。

◆栗津駅周辺整備について

Q 1億2千万円の予算が付されているが、その内容と整備スケジュールについて聞く。

A 西側では駅西広場の基本設計と用地買収等、東側では駅前広場道路の円形交差点への可能性を含めた改修社会実験を行い、改修計画を策定したい。今後は新幹線開業後の在来線の動向を注視しながら令和8年度末までに完了という思いで取り組んでいきたい。



◆旧西尾小学校跡地活用事業の現状と今後の見込みについて

A 現在は仮の基本協定書と覚書を締結しており本議会で議決されれば本協定となる。事業者の方でも施設の工事等を行っており、7月中のオープンに向けて準備を進めている。

◆F-15墜落事故は大変残念な事故であるが、殉職者への献花台を市で設置したことは評価したい。訓練の開始についてはいかがお考えか

A 訓練の再開については飛行の安全確保が最重要と考えており、周辺協や市議会の皆さんの意見をお聞きしながら判断していきたい。

◆公共施設マネジメントについて人口減少が急である昨今、公共施設の在り方について即座に取り組むべきと思うが、見解を聞く

A 今後40年間の公共建築物のインフラ更新費用は年平均100億円程度と試算しており、大きな課題となってくる。今後は機能の見直しやあり方について多様な視点で検討し、全体最適化を目指すために公共施設マネジメントを統括する部署の設置を考えている。市民生活の向上や交流を呼び込む貴重な財産として活用策等を大胆な発想で考えていきたい。



令和4年度当初予算編成について

Q 組織体制の見直しについて6部署の名称変更の要因と目的は。また、職員の人材育成の観点からの見解は。

A より分かりやすい組織名称への変更と重要課題への対応等、組織の強化を目的に見直す。年齢・性別を問わず、能力・意欲のある職員の積極的な管理職への登用等を行う。

◆ 令和4年度当初予算にあたり11項目の施策の目的と概要について

Q 当初予算編成での事業の見直しと成果は。

A 事業の統廃合など多岐にわたり検討し、経常的な財源として一般財源ベースで2億2千万円を確保できた。子育て支援をはじめ、新たな施策への展開に活用したい。

◆ 第6波におけるコロナ対策、経済対策は

A 1月臨時会では小松市事業復活強化支援金、令和4年度当初予算ではワクチン接種に係る費用等、感染防止対策費を計上。今後も市民生活の状況等々を注意深く把握し、国の追加経済対策等も踏まえながら必要な対策を検討したい。

◆ 環境審議会より制度改正の答申を受けて、ごみの減量化、リサイクル率向上に向けた取組は

A 外国の方や転入後間もない方に分別アプリ登録の案内等、取り組んでいきたい。

◆ 2015年の植樹祭から7年、育樹祭をどのように考えているか

A 育樹祭誘致に向けた協議会を設置する等、体制を固め主催者となる石川県に要望していきたい。

◆ 令和3年度産の米価が60kg当たり2千円以下下落した。本市の農業支援の取組は

A 小松産農産物のブランド力向上とPR強化により販路拡大を図る第1次産業強化プロジェクトや、こまつ駅弁開発支援事業を展開したい。

◆ 指定管理者スーパープロジェクト社の7月開業に向けた西尾地区滞在交流施設の運営と概要は

A 全国においてレストランやブライダル事業を手掛けている同社が管理運営を行う。レストランやカフェを整備し、市民割、学生割も準備して観光客だけでなく合宿利用も推進したい。

◆ 段階的に中学生全学年に拡大。学校給食無償化について

A 中学生全学年に拡大する費用として1億8,800万円計上。事務事業の見直しや法人市民税の回復等を加味し、4億1千万円程度を経常的に確保できる財源と見込み、子どもの予防接種の無償化等をはじめ様々な施策に活用する。



◆ 妊娠、出産、子育て応援について市長の想いは

A 妊娠から子育てまで切れ目ない支援を推進し、子育てするなら小松を選んで住んでもらえるよう、様々な施策を展開していく。

◆ 松陽中学校、稚松小学校に調査費が計上、今後の小中学校の改築計画は

A 今年度、空調復旧工事は日末小、今江小、安宅中、板津中の4校、大規模改造工事は中海小と国府中を予定している。

◆ 都市計画道路の今後の整備計画は

A 市内の都市計画道路は全43路線のうち、17路線が整備済み。全体見直しから10年以上経過し、計画を精査する時期に来ている。精査に際して、各計画道路周辺の開発状況やまちづくり構想を見据えて緊急度や優先度を勘案し、整備路線の精査を行いたい。

◆ 2年後に迫った新幹線敦賀開業に向けて小松駅、また周辺の整備計画と進捗状況は

A 3月1日に駅西駐車場の供用開始。東口広場は今年度夏、完成供用予定。西口広場は東口広場の供用後に改修に着手し、駅東西広場と南口バスのりば、高架下に整備する観光交流センターは、今年度末には全面供用予定。

代表質問 こまつ未来 一木 政(ふたぎおさむ) 議員

一括質問

公共施設マネジメント計画の改定

私と出戸議員・吉田議員二名で新しい会派「こまつ未来」を、この1月に結成しました。私達が目指すのは日本の素晴らしい伝統文化を継承し、日本人としての情けと理を大切にし、強い絆を持って小松市の未来を考え、住みよいまちづくりを目標にしております。

政策提言を重視し、宮橋市長をはじめ市執行部と連携を深めるとともに侃々諤々の意見交換をしていきたいと思います。

市長は事務事業の見直しをされました。また、組織機構の見直しもされました。とても大事なことであり、今後とも継続的な取り組みを期待するものです。

Q 公共施設マネジメント計画の改定を目指している中で、芦城公園エリアという言葉がでてくるが、公園のほか、小松中央緑地、駐車場、宮本三郎美術館、空とこども絵本館等を含めて総合的な歴史文化ゾーンのようなまちづくりをしてはいかがか。

A 今後、策定した都市計画の下、2040年に向けた新しいビジョンを作成する。わくわくする未来の小松のライフスタイルやカルチャーを捉え、このエリアの将来像についてもしっかりと描いていきたい。

Q GIGAスクール構想について、メリット・デメリットを聞か。

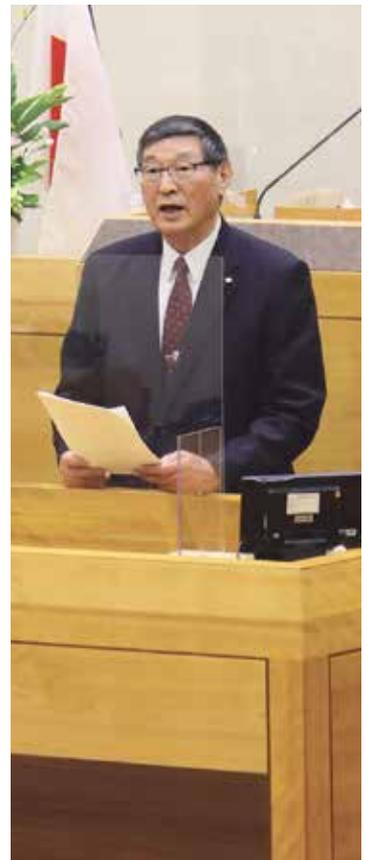
A タブレット端末を利用することで子供たちが学びの楽しさを実感でき、意欲をもつて学びに向かう姿勢や自ら学ぶという主体性の育成等がメリットである。デメリットとして、当初子供たちの活用スキルの点を挙げていたが、ICT活用について全国トップクラスの本市の先生のスキルにより、発達段階に応じた指導の工夫を行っている。

Q 橋梁、道路舗装、消雪装置の整備・維持管理について聞か。

A 橋梁：市が管理する橋梁は441橋あり、国が定める基準により、5年に1度近接目視による定期点検を実施している。路線の重要度を踏まえ計画的に修繕していきたい。

A 道路舗装：交通量の多い幹線市道約203kmにおいて路面性状調査を行っている。早急な修繕が必要とされる市道が約27kmあり、国の交付金等を活用し全面改修を計画的に実施している。

A 消雪装置：現在117か所、散水管延長約79kmが整備されている。今後は、維持管理を見据えたマネジメント、受益者負担の在り方を考えることが課題と捉えており、地域からの新設要望と既存施設の長寿命化整備の両立を図るための検討を行っていきたい。



Q ふるさと納税の状況・返礼品の売れ筋について伺う。

A 令和3年度の個人版ふるさと納税は2月末時点で3億200万円の寄附があった。企業版では、予定分も含め子ども・子育て施策等のために計700万円の寄附となる見込みである。人気の返礼品は、個別では有機野菜詰合せの定期便等であり、カテゴリー別では、お酒、お米等である。

